

12

日本の漁業・林業

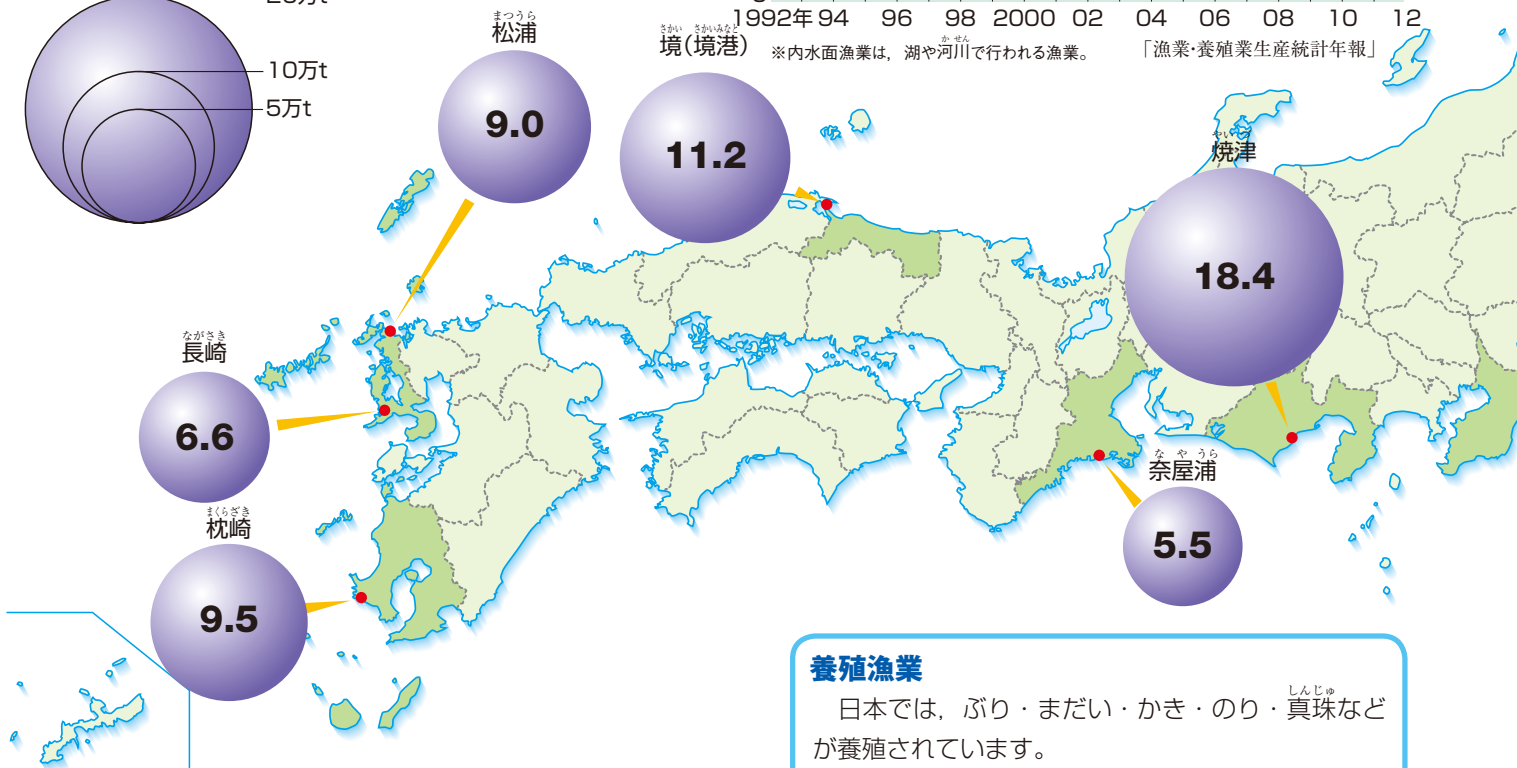
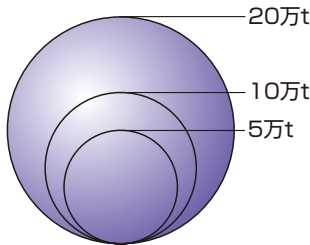
日本の漁業は、水産資源の保護のため「とる漁業」から「育てる漁業」に力を入れるようになっていきました。また林業は安い木材が輸入されるようになってから衰えています。

日本の漁業の移り変わり

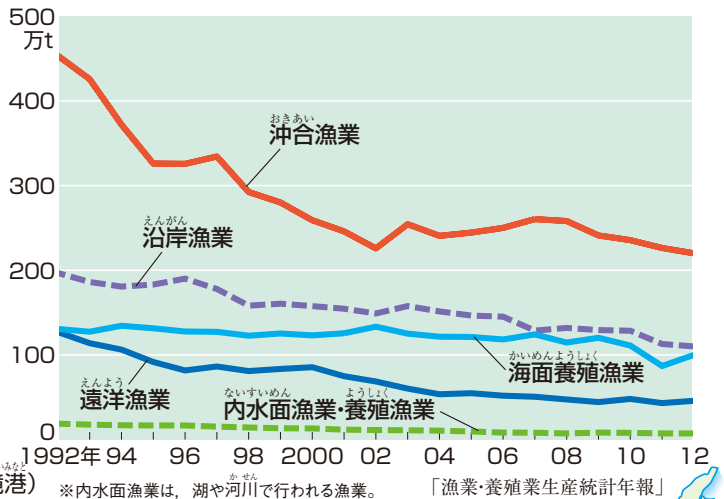
海に囲まれた日本では、古くから沿岸漁業や沖合漁業が発達し、漁港も各地にたくさんあります。しかし、最近では沖合漁業をはじめとして「とる漁業」の漁獲量が減ったため、養殖漁業や栽培漁業などの「育てる漁業」に力を入れています。

主な漁港の水揚げ量

年間水揚げ量が5万t以上の漁港 数字の単位は万t



データ 漁業種類別生産量の移り変わり



もっとくわしく

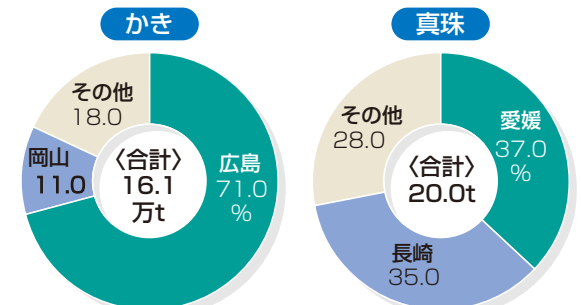
養殖漁業と栽培漁業

養殖漁業は、海に網を張ったり、人工の池をつくったりして、魚・貝・海藻などを育てとる漁業のことです。

栽培漁業は、卵をふ化させて、稚魚や稚貝にまで育てたのちに、海や川に放流し、大きくなってからとる漁業のことです。

養殖漁業

日本では、ぶり・まだい・かき・のり・真珠などが養殖されています。



(2012年)「漁業・養殖業生産統計」